

水深小学校における今後見込まれる普通教室不足の対応について

1 水深小学校の現状

現在、水深小学校では児童数の増加により余裕教室がなく、令和7年度においては、特別支援学級の1クラスを簡易間仕切りで2分割して使用している状況である。

今後も水深小学校では、さらなる児童数の増加が見込まれ、宅地開発の状況によっては、普通教室*の不足が進む可能性も想定される。

このような状況から、水深小学校の普通教室不足の課題については、緊急かつ個別の対応が必要であり、市全体の学校再編とは別に対応していく。

*普通教室…通常の授業を行うための一般的な教室。通常学級だけでなく特別支援学級を含む。
音楽室や図工室などの「特別教室」と区別される。

2 普通教室不足への対応

① 教室の転用

1つの教室を簡易的な間仕切りで2分割したり、図工室などの特別教室を転用したりする方法

② 校舎の増築

校舎を増築する方法

③ 通学区域の再編

通園通学区域審議会を立ち上げ、水深小学校の通学区域を見直す方法

→教室を分割して利用しているのは水深小学校のみであり、校舎を増築するには運動場を削ることになど、教育活動への影響を考慮すると、教室の転用、校舎の増築は現実的に難しい。

3 加須市教育委員会定例会より

令和7年9月22日開催の令和7年第10回加須市教育委員会定例会において、水深小学校の普通教室不足への対応について協議した。協議の結果、水深小学校の普通教室不足の対応としては、「通学区域の再編」が妥当であるとの判断をいただいた。そのため、加須市通園通学区域審議会を立ち上げ、水深小学校の通学区域の見直しを進めていく。

4 市民の意見

【加須市立幼稚園再編計画策定に係る説明会（会場：水深幼稚園）でのご意見】

- ・ 今後、下高柳では世帯数が増加し、水深小学校にこどもが入りきらなくなる。加須南小学校へ学区を再編しなければならないことになる。
- ・ 小学校や学童の教室不足があり、幼稚園の再編が進められている。まずは、小学校の教室不足を解決する必要がある。そのためには、学区の見直しが必要である。
- ・ 下高柳の児童が水深小から加須南小へ変わると、多人数が学区変更になる。人数の想定をしてほしい。

※ 自治会要望でも、水深小学区の一部の児童を加須南小に通うことができるようにしてほしいという要望が出ている。